

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	練習船実習 (機関)		
科目基礎情報							
科目番号	0084		科目区分	専門 / コース必修			
授業形態	実習		単位の種別と単位数	履修単位: 0			
開設学科	商船学科		対象学年	4			
開設期	前期		週時間数	0			
教科書/教材	鳥羽丸実習ノート 適宜、作成資料を配布						
担当教員	山野 武彦						
到達目標							
1.実船による実習と船内生活の体験を通じて、船舶の運航に必要な基礎的な技術・知識を養い、また、船員の職務・習慣を認識することを目標とする。 2.実習は、座学で学んだ内容を実践で実習して体得することを目標とする。 3.船舶の運航に必要な技術を習得し、機関士として船舶を運航するために必要な知識を確実に身に付ける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
評価項目1	船内生活を通じて、基礎的な技術・知識・船員の職務・習慣を十分理解し説明できる。	基礎的な技術・知識・船員の職務・習慣を理解できる。	基礎的な技術・知識・船員の職務・習慣を理解できず、説明できない。				
評価項目2	座学での内容を十分理解し実習中に行うことができる。	座学での内容を理解できるが実習中に行うまでは、できない。	座学での内容を理解できない。				
評価項目3	実習内での作業を率先して行い、技術や知識を習得できる。	実習内での作業を行い、技術や知識を、ある程度理解できる。	実習内での作業を行うが、技術や知識を、理解できない。				
学科の到達目標項目との関係							
教育目標 (B3) 海事技術者としての専門知識							
教育方法等							
概要	先ず、慣海性を養う。船上実習や座学を行うことで、船舶の運航に必要な基礎的な技術・知識を身に付け、船舶職員として要求される船内の安全維持と災害防止等を理解する。						
授業の進め方・方法	座学と現場実習を班分けして進め、実習は安全に留意し、時間の厳守、船内秩序維持のための数々の習慣を守る。						
注意点	前回までに実施した実習内容は、すべて体得していることを前提として実習を行うので、前回までの実習内容は必ず復習しておくこと。 評価は、実習態度、出席 (乗船) 等を総合して評価し60点以上を合格とする。						
授業計画							
前期	1stQ	週	授業内容	週ごとの到達目標			
		1週	主機関性能計測	採取データより機関性能を理解し説明できる			
		2週	クランクデフレクション計測	クランクデフレクションを採取し、現状を理解、説明できる			
		3週	主機給気弁整備作業	主機給排気弁の構造を習熟し、抜き出し開放整備作業ができる			
		4週	電気回路修理	電気回路の故障の原因を特定し、必要な部品の取替ができる			
		5週	シーケンス回路修理	回路を理解し不良個所の修理ができる			
		6週					
		7週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	乗船・実技等	合計
総合評価割合	0	0	0	50	0	50	100
基礎的能力	0	0	0	50	0	50	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0